

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備） 事後評価書（中間評価書）

平成 29 年 2 月 20 日

計画の名称	2 淡路市下水道再構築・資質向上（防災・安全）									
計画の期間	平成23年度 ~ 平成26年度（4年間）			交付対象	淡路市					
計画の目標	「命と暮らしを守るインフラ再構築及び生活空間の安全確保に資する」ため、ライフサイクルコストを念頭においた長寿命化計画に基づき施設の改築（更新）を進めると共に多発する集中豪雨などからの被害を防ぐための浸水対策を実施することにより、安全・安心で快適な暮らしを実現する。									
計画の成果目標（定量的指標）	・ 終末処理場の改築事業を対象施設の46%実施する。 ・ 淡路・東浦処理区浸水対策事業の南鶴崎第1排水区の雨水管渠整備済面積を0ha（H23当初）から22ha（H26末）に増加									
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値		備考		
						当初現況値 （H23当初）	中間目標値 （H24末）	最終目標値 （H26末）		
	・ 終末処理場の改築更新工事の実施 機械電気設備の改築更新工事実施 改築更新済設備数 / 改築更新が必要な設備数					0.0%	5.9%	46.7%		
	・ 淡路・東浦処理区浸水対策事業の雨水管渠整備済面積					0.0ha	7.8ha	22.0ha		
全体事業費	合計 （A + B + C）	1163百万円	A	1158百万円	B	0百万円	C	5百万円	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C）	0.4%

事後評価（中間評価）

事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
	平成28年12月
計画担当課において、事業数値目標における達成状況の検証を行った。	公表の方法
	ホームページ

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																
A1 下水道事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 （百万円）	備考
											H23	H24	H25	H26		
2-A1-1	下水道	一般	淡路市	直接	-	処理場	改築	淡路・東浦浄化センター長寿命化対策実施	監視制御設備・再生水設備	淡路市					603	長寿命化
2-A1-2	下水道	一般	淡路市	直接	-	雨水	新設	南鶴崎第1排水区（雨水管渠）	雨水管 A=22.0ha	淡路市					252	
											小計（下水道事業）		855			
A2 河川事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 （百万円）	備考
											H23	H24	H25	H26		
											小計（河川事業）		0			
											合計		855			
B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 （延長・面積等）	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）				全体事業費 （百万円）	備考	
										H23	H24	H25	H26			
											合計		0			

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)				全体事業費 (百万円)	備考	
										H23	H24	H25	H26			
2-C-1	下水道	一般	淡路市	直接	-	新設	南鶴崎第1排水区(雨水管渠末端)	雨水管 A=2.0ha	淡路市						51	
合計													51			
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
2-C-1	基幹事業(2-A1-2)と接続する雨水管渠(支線)を一体的に整備することで、末端の雨水流出の抑制につながる。															

交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した下水道施設(処理場)の改築更新を計画的に行うことにより、事故の未然防止及びライフサイクルコストの最小化を図ることができた。 ・雨水管渠を整備することにより、末端の雨水流出の抑制を図ることができた。 														
定量的指標の達成状況	指標	最終目標値	46.7%	目標値と実績値 に差が出た要因	市の財政事情により、年次計画に対する予算確保が困難であったため。											
		最終実績値	19.8%													
	指標	最終目標値	22.0ha	目標値と実績値 に差が出た要因		事業精査による整備面積の減少。										
		最終実績値	21.7ha													
	指標	最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因												
		最終実績値														
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)																

3. 特記事項(今後の方針等)

今後も、計画的に下水道施設の長寿命化対策を行うことにより、施設の持続的な管理を図る。